

#### 学長定例記者会見要項

日 時: 平成30年1月18日(木) 11:00~11:45

場 所: 法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

#### 発表事項

- 1. 山形大学の研究紹介 ~観光地域を科学的にマネジメントする~
- 2. Jミルク主催「学生のための乳の研究活動支援事業」成果報告会で本学学生が 優秀賞受賞
- 3. 「やまがた食育カレンダー2018」が完成しました!
- 4. 山形大学造形芸術コースの学生が山形美術館で卒業制作展を開催
- 5. 外国人留学生の採用に関する企業向けセミナーを開催します
- 6. 学生の活躍 ~ 日本学生フロアボール選手権大会で山形大学男子が優勝!~

#### お知らせ

- 1. 山形大学特別イベント「文学と歴史の舞台 江戸・東京を歩く」について
- 2. 山形大学農学部・東北森林管理局平成29年度シンポジウム 「人が動く、森が動く。~市民参加による森づくり~」について
- 3. フランスから研究者を招いて講演会「19世紀末のメディア的想像力」を開催
- 4. 第20回理科読シンポジウムの開催について
- 5. モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会in 大蕨2018について
- 6. やまがた夜話の開催について

#### (参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成30年2月9日(金) 11:00~11:45

場 所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

## 学長定例記者会見(1月18日)発表者

1.	山形大学の研究紹介 ~ 観光地域を科学的にマネジメント 学術研究院 助教(観光学・都市計画学)	する ~ たかきわ ゆ み 高澤 由美
2.	Jミルク主催「学生のための乳の研究活動支援事業」成果 本学学生が優秀賞受賞 地域教育文化学部 食環境デザインコース4年	<b>報告会で</b> <sup>あだち ぇ り な</sup> 足立 恵理奈
3.	「やまがた食育カレンダー2018」が完成しました! 地域教育文化学部 食環境デザインコース3年	かわむら み か 川村 観華 くさか みどり 日下 碧
<b>4</b> .	山形大学造形芸術コースの学生が山形美術館で卒業制作 地域教育文化学部 造形芸術コース4年 "	展を開催 Lらばやし あゃね 白 林 彩音 あおやま せ な 青山 星菜
5.	<b>外国人留学生の採用に関する企業向けセミナーを開催しま</b> 学術研究院 准教授 (多文化共生教育センター長) 学術研究院 教授 (留学生就職支援担当)	まっぱ ごう 松葉 豪 いんどう としひこ 進藤 俊彦
6.	学生の活躍 ~ 日本学生フロアボール選手権大会で山形: 工学部 機械システム工学科 4年	大 <b>学男子が優勝!〜</b> いとう こうた 伊藤 鴻太



平成30年1月18日 山 形 大 学

#### 山形大学の研究紹介〜観光地域を科学的にマネジメントする〜

地方創生の潮流やインバウンドの増加、東京オリンピック等のビッグイベントを前に、 来訪客を増やすことは観光地域の高い関心事になっています。しかしながら他方で、来 訪客獲得をめぐる国内外の都市間競争も激化しています。このような状況のなか、集客 力を高める為には、勘や経験だけでなく科学的な分析にもとづくマネジメント力がます ます重要になります。高澤由美助教(観光学・都市計画学)は、観光地域づくりを科学 的な手法を用いながらマネジメントする取り組みを行っています。

#### 1. 「泉質の良さ」の化学的・科学的な分析に基づく集客戦略づくり

「お湯の良さ」は何に由来するのか?の解明に、化学分析、及び感性工学の観点から取り組んでいます。具体的には、温泉の成分を化学的・定期的に計測するとともに、入浴時の感覚を利用客に調査し感性評価法を用いて分析をすすめています。これらの分析結果を用いて、泉質の特徴を科学的に解明し、温泉の新たな価値を創成することを試みています。今後は泉質の特徴に親和性の高いターゲットを定めマーケティングの手法を用いながら集客戦略につなげていきます。

#### 図1 県内6温泉の溶存物質の合計値

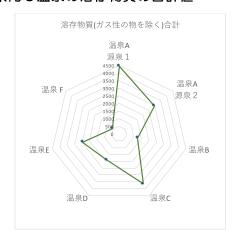
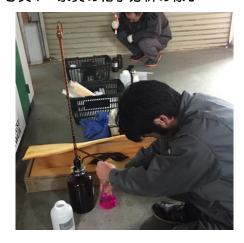


写真1 泉質の化学分析の様子



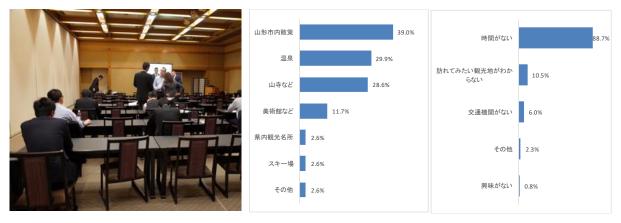
※溶存物質とは鉱泉1kg中に含まれているガス性以外の物質の総量のことであり、陽イオンと 陰イオンと非解離物質の総合計の値のことです。この合計値が高いと成分が濃いとされます。

#### 2. ビジネスイベントの波及効果を最大化するしくみの構築

集客が見込まれるビジネスイベントは、総称してMICE(Meeting、Incentive Travel、Convention、Exhibition/Event)といわれており、レジャー目的以外の集客ツールとして注目が集まっています。高澤助教は地方における中小規模MICEの可能性と地域への波及効果について調査研究を進めています。MICEはレジャー目的の観光と比較して経済波及効果が高く安定的な開催が見込めるというメリットがあるため、大都市を中心に誘致活動が活発になっています。地方では都市の特徴を生かしたMICEイベントを誘致し、波及効果を最大化するモデルを形成することが重要だと

考えています。県内で開催されているMICEイベント参加者への実態調査等を通して、波及効果の現状と課題を探っています。また、天童では地域の旅館が連携し形成しているDMC(Destination Management Company)がMICEを支援する機能を有することが期待されており、地域版MICEの新しいモデルのひとつとしてトレースを続けています。

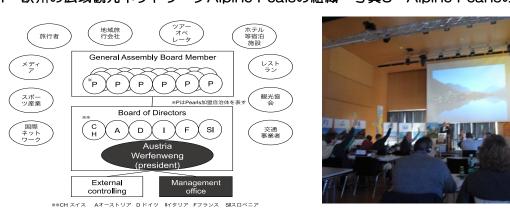
写真2 温泉旅館を会場に開催される国際会議 図2 学会参加者(山形市)の観光行動(左) (n=89 MA) 図3 学会参加者が観光をしない理由(右) (n=133 MA)



#### 3. 持続的・効果的な地域マネジメントの要素の解明

観光地域づくりを行う組織DMOが全国各地で設立されていますが、マネジメントの実践段階で様々な課題を抱えています。高澤助教は国内外の観光地域づくりを担う 先進的な組織の構造や活動内容の事例を通して、その特徴の解明に取り組んでいます。こうした研究から得られた示唆を、地域の価値創成と集客力の向上につなげることを目指しています。

#### 図4 欧州の広域観光ネットワークAlpine Pealsの組織 写真3 Alpine Pearlsの総会の様子



本研究の一部は科研費、及び山形大学産業研究所の助成を受けて行っています。

#### (お問合せ先)

学術研究院

助教 高澤由美 (観光学・都市計画学)

電話 0238-26-3718

mail takasawa@yz.yamagata-u.ac.jp



#### ■開催にあたって

地域をマネジメントし、集 客力を高めることは多くの 地域で共通の課題になって います。

講演会では自然、文化、特 産物、ライフスタイルなど の地域資源を「価値」に変 え、さらに広域ネットワー クで集客につなげている欧 州と越後湯沢の取組をお話 いただきます。

蔵づくりの会場で地域の価 値についてじっくり学び議 論を深めます。

無料

#### ■会場 Unique venue!

蔵オビハチ 山形県山形市十日町3-1-43

#### ■プログラム

2月3日(土) 10:00-13:00

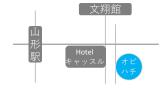
#### 10:00-欧州の事例

環境×観光で価値を生み出す Alpine Pearlsの活動 スピーカー Karmen Mentil 氏

#### 11:00-越後湯沢の事例

地域の本質的な価値をつくる スピーカー 井口智裕氏

12:00-ディスカッション Karmen Mentil×井口智裕



#### ■お申し込み

Google formでお申込みください https://goo.gl/forms/biTkDLeor6n 4z7QF2

※入力できない場合は下記アドレス までメールでご連絡ください。

#### ■ゲストスピーカー

#### Karmen Mentil氏 Alpine Pearls事務局長 2006年よりAlpine Pearls のマネジメントを担う。環

境と観光の両立を目指して 6カ国25地域の広域ネット ワークのブランディングや マーケティングに取組む。



#### 井口智裕氏 -般社団法人 雪國観光圏

「雪國観光圏」を立ち上げ、 世界レベルで通用する地域 の価値を追求。「100年後 も雪國であるために」食や 環境、地域文化を活かして 活動している。









平成30年1月18日 山 形 大 学

## Jミルク主催「学生のための乳の研究活動支援事業」成果報告会で 本学学生が優秀賞受賞

平成29年12月に東京で開催されたJミルク主催「学生のための乳の研究活動支援事業」成果報告会において、大森桂教授(食教育・健康教育)の指導する地域教育文化学部食環境デザインコースの4年生足立恵理奈さんらが研究成果を発表し、食育・栄養指導部門の優秀賞を受賞しました。大森研究室では長年、食育に関する研究を行っており、当事業に平成28年度と29年度に連続で採択され、支援を受けて行った2年間の研究成果が評価されたものです。

#### 1. 大森研究室の研究テーマについて

地域教育文化学部主担当の大森桂教授の研究室では、長年、幼児から高齢者まで幅広い人々を対象に、食教育の効果的な方法について、地域の学校やNPO団体等と連携して実証的研究を行っています。今回の「学生のための乳の研究活動支援事業」に応募する以前から、上山市にある酪農教育ファームと連携し、ファームを訪れて搾乳等の体験学習を行った子どもたちの意識等がどのように変化するのか調査研究を行ってきました。

昨年度と今年度は、大型バスを貸し切り、本学の大学生を連れてファームを訪問し、搾乳等の体験活動を実施しました。さらに、牧場主の方を大学にお招きし、学生に向けて講話をして頂きました。酪農をテーマとしたこれら一連の学習が、大学生の食に対する意識や行動にどのような効果をもたらすのかを調査し、2年間の成果を今回発表しました。調査の結果、7割以上の学生が、学習後に意識や生活習慣に変化があったと回答し、牧場の仕事に対するイメージも向上していること等が明らかとなりました。



平成29年12月26日にTKPガーデンシティPREMIUM京橋(東京都中央区)において行われた同事業の成果報告会には、大森教授と研究室の4年生3名が参加・発表し、食育・栄養指導部門の優秀賞を受賞しました。当日は、国内各地の様々な大学から専攻の異なる学生が一同に会し、活発な質疑応答がなされ、互いに刺激を受ける良い機会となりました。今年度当事業に採択された14団体が発表し、6団体が受賞しました。

#### 2. 今後の研究について

今回の発表内容および研究の詳細は、今後JミルクのHPに掲載される予定です。大森研究室では、 酪農教育ファームでの体験学習の他、山形市内の中学校と連携し、家庭科の学習に骨密度の測定を組み 入れることの効果等も調査しています。今後はこれらの学習活動を体系的に構成し、YU-COE採択事業であるフードリテラシーを育成するための食教育プログラムの開発につなげたいと考えています。

#### 3. 「学生のための乳の研究活動支援事業」について

一般社団法人Jミルクは、次世代における乳の学術研究の育成・発展を図ることを目的とし、栄養学・教育学・マーケティング等に係る大学の研究室等による研究活動を支援する事業を平成28年度より行っています。例年、応募申請の中から最大20件程度について、審査の上、その活動の一部が支援されます。支援を受けた団体は、年末に東京で開催される成果発表会で報告し、全団体の発表終了後に審査が行われ、優れた研究に対して表彰が行われます。

(お問合せ先) 山形大学学術研究院教授 大森 桂(食教育・健康教育) omorik@e,yamagata-u,ac,jp



平成30年1月18日 山 形 大 学

#### 「やまがた食育カレンダー2018」が完成しました!

全頁カラーの食育カレンダーが今年も完成しました。「家庭や学校で子どもと食べ物について話したり、地場産物を味わうきっかけになれば」との願いから、栄養士や栄養教諭、家庭科教員を目指す地域教育文化学部食環境デザインコースの学生が作成しました。

おかげ様で7年目を迎えた今年のテーマは、日本の年中行事。毎月、山形の特産品を活用しながら各行事にちなんだ斬新な料理を提案しています。

さらに今年は、各月に朝ご飯コラムとレシピを追加し、自分の食生活力(フードリテラシー)をチェックするコーナーも設けました。

子どもと一緒に山形、そして日本の食文化の豊かさを再発見してみませんか?

#### 1. 本カレンダーの特色

- (1) 見開き上部:その月にちなんだ料理を学生が考案。実際に調理し、画像と共に作り方を紹介。
- (2) 見開き下部:食にちなんだ記念日、朝ごはんレシピやコラム、フードリテラシーについてのチェック項目を掲載。
- (3)末尾: 更に詳しく知りたい方のために、記念日の由来等を掲載。

#### 2. 本カレンダーにより期待される効果

家庭や学校、保育園・幼稚園等における食育の教材として様々な活用ができます。

- ①見開き下部の毎日の話題をきっかけに、巻末の詳しい解説も活用しな がら、子どもの興味に応じて幅広い学習が継続的にできます。
- ②山形で味わえる毎月の旬の食材や郷土料理も紹介しており、子どもだけでなく、特に若い世代の保護者 にも山形の郷土食に興味を持って頂き、地産地消にも貢献できるのではないかと考えています。

#### 3. 発行に至るまでの経緯

2011年、コース3年生対象の授業「栄養教育実習II」において、担当教員である大森桂教授(食教育・健康教育)が、カレンダーの製作を提案。学生が班ごとに担当する月を決め、毎日の食に関する話題として掲載する内容を検討。毎月の料理の考案・調理も学生が担当。編集作業は、本学の男女共同参画推進事業の一つである、研究継続支援員制度を活用。料理の撮影およびカレンダー全体の監修は大森教授が担当。毎年、県内外の個人、各種学校、企業、行政機関等から、多数の入手申し込みを頂いています。

#### 4. 配布について

今年は千部発行しました。カレンダー本体は無料です。ご希望の方は、A4サイズの入る返信用封筒(角形2号)に送付先を記入し、送料(1部の場合215円、2~3部の場合300円)分の切手を同封の上、大森研究室(山形市小白川町1-4-12山形大学地域教育文化学部)までご郵送ください。小白川キャンパス内のインフォメーションセンターでも配布しています。詳細は学部HPに掲載予定です。

#### (お問合せ先)

地域教育文化学部事務室 023-628-4304 学術研究院教授 大森桂 omorik@e,yamagata-u,ac,ip

## プレス発表資料



平成30年1月18日 山 形 大 学

#### 山形大学造形芸術コースの学生が山形美術館で卒業・修了制作展を開催

山形美術館で地域教育文化学部造形芸術コース4年生と大学院地域教育文化研究科 文化創造専攻造形芸術分野の2年生が卒業·修了制作展を開催いたします。

今年の展覧会には変形キャンパスを用いた絵画作品や、デジタルイラストレーション、木彫、消しゴムはんこ、鉛筆による手書きアニメーション、写真、拓本、和紙を用いた作品といった様々な技法・材料を用いたバリエーション豊かな作品が展示されます。

#### ◇実施概要

開催日時:平成30年1月31日(水)~2月4日(日)

10:00~17:00(最終日のみ16:00まで)

会 場:山形美術館 2階第3展示室(山形市大手町1-63)

入場無料

#### ◇関連行事

ナビゲーターによる作品鑑賞ツアー

日時: 2月3日(土) 1部11:00~、2部14:00~

内容:一部の作品をピックアップした鑑賞者と作者による対話型ギャラリー

トークを行います。1部と2部で内容が異なります。

ギャラリートーク

日時:2月4日(日) 14:00~

内容:全出品作品が対象のギャラリートークです。

#### (お問合せ先)

地域教育文化学部事務室 電話 023-628-4304

学生広報担当 白林彩音·青山星菜

E-mail: ymgt.z.k.142130@gmail.com



山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科 造形芸術コース 山形大学大学院 地域教育文化研究科 文化創造専攻 造形芸術分野 卒業・修了制作展 2018



2018.1/31(水)-2/4(日)

会場/山形美術館 10:00-17:00(最終日16:00)

#### 

「サビダーターによる 作品鑑賞グアーリ(※) 1)部 8 11) 8 110 ~ // 2 記 8 111 8 111 ~ // 2

#### 回 2/4(日)

□s□~ 卒業・修子研究(論文)発表会 旧s□~ ジャラリートーク

#### 回お問い合わせ

⊠ gymgtzkiH2130@gmail.com



💙 🛭 @yamadai\_sotuten

## 入場無料

☆ 9	山形質研究的 バス体
きらやか掛け	
TRIK	



平成30年1月18日 山 形 大 学

#### 外国人留学生の採用に関する企業向けセミナーを開催します

山形大学では、平成29年度文部科学省「留学生就職促進プログラム」に採択された『地域社会が連携した地域版留学生就職促進プログラム』\*を東北公益文科大学、山形県、山形県国際交流人材育成推進協議会と連携して実施しています。このプログラムは、山形県の課題である「人口減少」「産業のグローバル化」「国際観光促進」「農業の活性化」などを解決する1つの方策として、外国人留学生の雇用・定着を推進するものです。

今回、企業採用担当者向けに、セミナーを企画しました。新たな人材の確保や新規事業に向けて、高度国際人材の確保の一助になればと考えております。

#### 外国人留学生の採用に関する企業向けセミナー

【日時】

1月26日(金)13:00~17:30

【場所】

メトロポリタン山形「出羽」3階(山形市香澄町1-1-1)

#### 【当日スケジュール】

13:00~13:45	外国人留学生に対する大学の取り組み
213:45~14:30	外国人留学生採用に関する最新動向
<b>314:45~15:30</b>	外国人留学生の採用事例報告
<b>415:30~16:00</b>	外国人留学生の受け入れ手続き
<b>516:00~16:30</b>	外国人留学生によるパネルディスカッション
<b>⑥</b> 16:30∼17:30	相談会·懇親会(企業·学生·大学)

#### ※『地域社会が連携した地域版留学生就職促進プログラム』

山形大学、東北公益文科大学、山形県、地方自治体、企業などで構成するコンソーシアムを通して、留学生にインターンシップなどの日本国内の就職をアシストする実践的な取り組みを行い、県内・日本国内企業へより多くの留学生が就職できる持続可能な地方国立大学の留学生の就職支援モデル「山形モデル」を構築します。留学生に対しては、日本企業で就職するに十分な語学力、日本国内に就職するために必要なビジネスマナーなどのキャリア教育を実施します。企業の実務担当者にも実践的教育の一部を担ってもらい、大学と企業の間のギャップを埋めるための教育システムを構築します。

(お問合せ先)

学術研究院 教授(留学生就職支援担当) 進藤 俊彦

電話:0238-26-3425

#### 「地域社会が連携した地方版留学生就職促進プログラム」

#### 山形県と県内大学の課題

山形県

【山形県】

人口減少対策、ものづくり産業の活性化、観光促進、農業の活性化 【県内の大学】

留学生数の拡大とグローバル化教育の強化

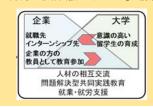
山形県では「地域創生」のために国際化・グローバル化の推進が大きな課題 大学では「多文化共生教育」には日常的に留学生と接する環境が必要

#### 理工学研究科ものづくり技術経営学 (MOT) 専攻とうほくMITRAIコースの実績

就職希望者の就職率100%の実績 (留学生37名が日本企業に就職(半数は山形県内企業) ビジネス日本語とキャリア開発教育の実績

#### 工学部国際交流センターの実績

日本語教育(基礎・中級・応用)の実施 留学生のためのイベント開催(県内企業バスツアー、 合同企業説明会、ビジネスマナー講座等)の実績 新たな留学生就職支援「山形モデル」の構築



「山形大学」を中心にして「山形県国際交流人材育成推進協議会」がコンソーシアムを形成し、 産官学金が一体となった留学生の地域定着支援

目標:大学・大学院で学んだ高度な語学力と専門性を有する留学生を地域に定着せさせることで山形県(東北地方)のグローバル化を図り、地域全体の国際化を支援

#### プログラムの概要

#### 学生の日本企業就職力向上の取り組み

- ·「問題解決型共同実践教育」の実施
- ○企業人による留学生教育
- →留学生教育からキャリアパスの構築を支援
- ○企業・大学の双方向型インターシップ教育
- ・日本語教育・キャリア開発関連科目の拡充
- ・ビジネスマナー講座の実施
- ・合同企業説明会・企業訪問バスツアーの拡充
- ・キャリアカウンセラーによる就職相談
- ・不安を取り除く教育(災害・社会保険制度等)
- ・地域交流イベントを通じた地元理解教育

#### 留学生の受入体制の構築

- ・事務書類、教務書類の英語化推進
- ・留学生メンター制度、学生チュータ制度の拡充
- ・渡日前入学制度の拡大
- ・Webおよびシンポジウムを利用した情報発信

- 大学における留学生支援システムの開発
- ・6カ国にあるサテライトキャンパスでの支援
- ・留学生データ・協力企業の一元管理 →就職後もフォローアップする体制の確立

#### 企業に対する支援体制

#### 留学生の認識を「高度国際人材」に変化

- ・インターンシップによる意識改革
- ・企業向け留学生採用に関するセミナー
- ・海外展開・地域活性に関連するセミナー
- ・受入企業に対する留学生採用の相談
- ・卒業生ネットワークの構築と就労相談

#### 参画機関が連携して留学生、地域社会、受入企業に対する支援体制を構築



- ○インターンシップ先企業を40社程度に開拓・拡大
- ○就職希望者の日本企業への就職5割以上の達成
- ○N1取得を目指した日本語教育の構築と高いN1合格率の達成



## 留学生就職促進プログラム

#### 支援1 日本語教育

目標:就職活動に必要となる日本語力養成(必修) ビジネス日本語習得の前提となるN1,N2レベルを 目指す。

- ◆N1. N2 実力養成講座
- 1)定期学習講座
- 2)試験直前特訓講座
- 3)長期休暇を利用した集中講座
- ◆日本語力・スケジュールに合わせた個別学習
- 1)個人別実力測定
- 2) SKYPE等による個人レッスン

#### 支援3 就職関連講座

山形県や大学による研修・講座

- 留学生のための山形県内企業バスツアー
- ・留学生限定のビジネスマナー講座
- 就職セミナー合宿
- ・留学生のための県内企業合同企業説明会
- 社会福祉制度に関する研修会
- ・防災・災害支援に関する研修会 など

#### 支援2 キャリア教育

- ◆日本ビジネス講座(必修 2単位)
- 目標:経営学・社会学の視点からグローバル経済の実情を理解する。また日本における就職を前提として、日本企業の価値観、特徴、仕組み、働き方などを学ぶ。
- ◆キャリア開発(必修 2単位)
- 就職活動に必要なknow-howの指導。キャリア カウンセラーを設置し、留学生の特性や適性に 応じた個別指導を実施。

#### ◆インターンシップ

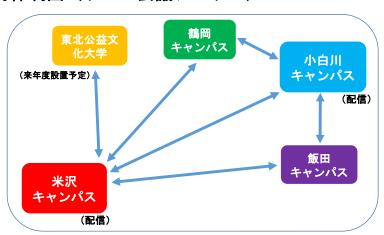
実施期間:最低でも1ヶ月間実施。

できるだけ夏季休暇・冬季休暇の期間を利用。

企業決定:学生の専門・研究 内容・将来の希望を調査の上 で決定。できるだけ山形県内 の企業に派遣。ただし、状況に より県外企業の場合もあり。



#### 教育体制図(テレビ会議システム)



テレビ会議システムによる、日本語教育・キャリア教育を行います。

# 外国人留学生の採用に関する

# 企業向けセミナー

1.26 金 13:00 ~ 17:30

場所:ホテルメトロポリタン山形



## «当日スケジュール»

①13:00~13:45 外国人留学生に対する大学の取り組み

②13:45~14:30 外国人留学生採用に関する最新動向

③14:45~15:30 外国人留学生の採用事例報告

④15:30~16:00 外国人留学生の受け入れ手続き

⑤16:00~16:30 外国人留学生によるパネルディスカッション

⑥16:30~17:30 相談会·懇親会(企業·学生·大学)

## 《お申込方法》

下記連絡先へ問い合わせください。申込書を送付させていただきます。

<mark>山形大学工学部 学務課学生支援担当</mark>

TEL)0238-26-3017 E-mail)kougakusei@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催:山形大学 協力: 株式会社マイナビ

## 外国人留学生採用に関する企業向けセミナー ご案内(2018年1月26日)

山形大学では、今年度より外国人留学生の山形県内就職を目指したプログラムを 県内大学と連携して始動しています。本プログラムでは、山形県の課題である「人 口減少」「産業のグローバル化」「国際観光促進」「農業の活性化」などを解決す る1つの方策として、外国人留学生の雇用・定着の推進を行っています。

今回、企業採用担当者に向けに、留学生教育に関する大学の取り組み、本プログラムとの連携方法、留学生採用の最新動向、ビザ変更などの手続きに関する講演、ならびに実際に就職活動を行ってきた留学生の声を聞いていただける機会など組み合わせた企業向けセミナーを企画いたしました。新たな人材の確保や新規事業に向けて、高度国際人材の確保の一助になれればと考えております。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

日程	時間	プログラム概要
	13:00~13:45	外国人留学生に対する大学の取り組み
	13:45~14:30	外国人留学生採用に関する最新動向
	14:30~14:45	休憩
1月26日(金)	14:45~15:30	外国人留学生の採用事例報告
	15:30~16:00	外国人留学生の受け入れ手続き
	16:00~16:30	留学生によるパネルディスカッション
	16:30~17:30	相談会・懇親会(企業・学生・大学)

<sup>\*</sup>上記プログラムは予定です。当日、若干の変更の可能性がありますので、予めご了承ください

#### 【本セミナー後の予定について】

留学生に対する就職支援として、今後インターンシップの実施、企業・業界研究、日本語教育、日本 ビジネス教育、社会保障などに関する教育を実施します。また合同企業説明会にも参加します。

留学生のためのインターンシップにつきましては、本セミナーにご参加いただきました企業様に対して優先的にご案内をさせていただきます。また留学生のための合同企業説明会ならびに企業訪問バスツアーへの参加については、山形県と調整のうえで後日、ご案内をいたします。

#### 会場

### ホテルメトロポリタン山形「出羽」(3階)

当日は12時45分までに受付にお越しください。駐車場についてはホテルの駐車場または近隣の駐車場をご利用ください(駐車券は発行できませんので、ご了承ください)。

## 外国人留学生採用に関する企業向けセミナー 申し込み方法

#### 申込み方法

下記フォームより、FAXまたはメールにてお申込ください

FAX: 0238- (26) -3406

メール: kougakusei@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

お申込期限: 2018年1月19日(金)午後17:30迄

ふりがな					
貴社名		部	署名		
ご住所					
TEL	E−ma	il			
ご氏名1	ご氏4 ふりがな				
ご氏名2	ご氏4 ふりがな				
ご氏名3	ご氏4 ふりがな				

#### 【留学生受入促進企業セミナーにおける個人・企業情報の取り扱いについて】

山形大学は、お問合せいただいたお客様の個人情報の管理に細心の注意を払い、これを適正に取り扱います。メールアドレスなどの個人・企業情報はご意見・ご要望・お問合せ等への対応という目的の範囲内にて利用いたします。

法令に基づく正当な理由がある場合を除き お客さまの同意なく目的外での利用及び第三者への提供は行いません。お問合せの際の個人情報のご提供は、登録者の任意に基づきます。なお、必要となる個人情報が確認できない場合は、お問合せ内容にご対応しかねる場合がございますので、予めご了承ください。本件で登録いただいた情報の開示、修正等につきましては下記へご連絡ください。

【お問い合わせ先・申し込み先】

山形大学留学生就職促進プログラム企業セミナー運営事務局(担当:中川) TEL: 0238-26-3017 E-mail: kougakusei@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## プレス発表資料



平成30年1月18日 山 形 大 学

#### 学生の活躍~日本学生フロアボール選手権大会で山形大学男子が優勝!~

平成29年12月23日(土)、24日(日)に開催された第7回日本学生フロアボール選手権大会において、山形大学男子が優勝しました。山形大学を含む7大学が参加したこの大会には、本学からサリバンディ部が出場し、男子の部で初優勝を飾りました。また、最優秀選手として、キャプテンの伊藤鴻太さん(工学部4年)が選ばれました。

フロアボールは、スウェーデン発祥のスポーツで、北欧で盛んな室内ホッケー競技です。スティックでプラスティック製のボールを相手チームのゴールに入れて得点を競います。

山形大学サリバンディ部(フィンランド語でフロアボールの意味)は、2002年に設立。現在男女あわせて約70人が小白川、米沢、鶴岡の各キャンパスで活動しています。2014年、2016年には、学生日本代表として世界大会に派遣された選手もいましたが、入学してからこの競技をはじめた学生たちがほとんどです。昨年度は4位に終わった日本学生フロアボール選手権大会で、強豪私立を破って、初めてトロフィーを手にしました。

#### ●大会概要

大会の名称:第7回日本学生フロアボール選手権大会 大会の期間:平成29年12月23日(土)~24日(日)

会 場:駿河台大学(埼玉県飯能市)、

鐘山スポーツセンター体育館(山梨県富士吉田市)

参加大学:国士舘大学、駿河台大学、仙台大学、千葉大学、東北大学、

三重大学、山形大学

※山形大学からは、男子の部20人、女子の部20人が参加。女子の部は三重大学を除く6大学が参加し、本学は4位の成績を収めました。

(お問合せ先) 山形大学総務部総務課広報室

電話 023-628-4008

## プレス通知資料(概要)



平成30年1月18日 山 形 大 学

\*詳細は別添の資料をご覧ください。

#### 1. 山形大学特別イベント「文学と歴史の舞台 江戸・東京を歩く」について

山形大学地域教育文化学部の前身、山形師範学校出身の藤沢周平氏や山形県川西町出身の井上ひさし氏などの時代小説・歴史小説の主要な舞台となった江戸の面影残る東京で、町歩きと落語口演を実施します。

日 時:平成30年3月2日(金)10:00~16:30

会 場:日本橋社会教育会館

#### 2. 山形大学農学部・東北森林管理局平成29年度シンポジウム

#### 「人が動く、森が動く。~市民参加による森づくり~」について

山形大学農学部と東北森林管理局とは、平成23年度に相互の扶助を目標として連携協定を締結しました。我が国の森林・林業の現状について広く多くの方に知ってもらうことを目的に、連携シンポジウムを開催します。参加費無料・申込不要です。

日 時:平成30年2月2日(金)14:00~16:00

会 場:農学部3号館3階301講義室

#### 3. フランスから研究者を招いて講演会「19世紀末のメディア的想像力」を開催

パリ西ナンテール大学からジュリアン・シュー准教授をお招きして、「ベル・エポック」をテーマとする講演会を開催します。ベル・エポックとは、20世紀初頭の「美しき時代」を意味するフランス語で、この名称は、この時期にヨーロッパの文化が一斉に花開いたことに由来します。今回は特にグラフィック・アートとメディアの関係を中心にお話いただく予定です。講演は英語で行われ、通訳が付きます。

日 時:平成30年1月19日(金)16:20~17:50

会 場:人文社会科学部1号館301教室

#### 4. 第20回理科読シンポジウムの開催について

山形大学SCITA(サイタ)センターでは日本出版会館で開催されます第20回理科読シンポジウム「子どもの科学の図鑑を語る」の模様をネット中継でご覧いただけます。

日 時:平成30年1月28日(日)10:00~16:30

会 場:山形大学SCITAセンター

#### 5. モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会in 大蕨2018について

大学コンソーシアムやまがた等の主催により棚田での雪中サッカー大会を開催します。

開催日時:平成30年2月17日(土)8:30~13:30

場 所:山辺町大蕨の棚田

参加費:1チーム3,000円

申込締切:平成30年2月6日(火)16:00

#### 6. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話し していただく「やまがた夜話」を開催しています。

2月は、「文化財のゲンバ」をテーマに各分野の現場で働く方々にお話を伺います。

山形大学地域教育文化学部の前身、山形師範学校出身の藤沢周平氏や 山形県川西町出身の井上ひさし氏などの時代小説・歴史小説の主要な 舞台となった江戸の面影残る東京で、町歩きと落語口演を実施します。

#### 第一部 日本橋町歩き

山本陽史教授をナビゲーターに江戸の中心として栄えた日本橋を歩き ます。小説や時代劇でおなじみの場所の現在の姿を確認し、かつての 賑わいに思いをはせましょう。(歩行距離約3 km)

#### ※荒天時にはコース変更、中止にする場合があります

- ●開催時間 10:00~11:45 (A班) / 13:00~14:45 (B班)
- ●予定コース 日本橋社会教育会館~蛎殻銀座跡~元吉原遊郭跡~越 後谷呉服店跡~日銀本店(金座跡)~一石橋~北町奉行所跡(遠望) ~日本橋~魚河岸跡~江戸橋~照降町跡(『橋ものがたり』の舞台)~ 日本橋社会教育会館

(町歩きには多数のお申込が予想されるため、2 班に分けて実施します)

#### 第二部 桂伸治師匠 落語口演・対談「生きている江戸」

●開催時間 15:00~16:30 ●会場 日本橋社会教育会館 8Fホール

## 

東京都生まれ

1974年4月 二代目桂伸治に入門 前座名は桂平治 1979年4月 平治のまま二ツ目昇進 1989年4月 真打ち昇進と同時に 「三代目桂伸治」襲名







山本陽史

和歌山県生まれ

山形大学教授 (日本文学) 東京大学人文科学研究科 博士課程 単位取得退学 近世日本文学者、 小説家藤沢周平の研究者

## 平成30年3月2日(金) $10:00 \sim 16:30$

※時間は参加方法によって異なります

#### 交通案内

地下鉄●人形町・徒歩約4分●水天宮前・徒歩約5分

都バス●水天宮前・徒歩約5分

江戸バス(コミュニティバス)●人形町駅・徒歩約2分

※会場(日本橋社会教育会館)へのお問い合わせはご遠慮ください

#### イベント内容

第一部 A班、B班 各40名 ●定員

第二部 100 名

●参加費 第一部 500 円 (保険料等・当日現金でいただきます)

第二部 無料

※お申込方法は裏面申込書をご参照ください



2/1 (未) 10:00 受付開始

#### お問い合わせ

山形大学総務部総務課広報室

TEL: 023-628-4008 FAX: 023-628-4013 E-mail: koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



成 29 度 山 形 大 学 特 別

< 申込先 > 山形大学総務部総務課広報室

FAX: 023-628-4013 E-mail: koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 「文学と歴史の舞台 江戸・東京を歩く」申込書

お申込の際は、以下に必要事項をご記入の上、ファックスをお送りいただくか、 以下の情報を入力して E-mail をお送りください。

なお、受付開始は**平成30年2月1日(木)午前10時**です。それ**以前**のお申込は**無効**となりますのでご注意ください。

ふり	が	な					性 別	
   お   (生 年		前 <sub>3</sub> )	(	年	月	日生)	男・女	
ご	住	所	〒					
連絡先電話番号			ご 自 宅携帯電話					
E-mail アドレス			@					
備考								
第一 第二 参加希望コースについて第二希望まで左の <b>太枠</b> 欄に〇をご詞						<del></del> 記入ください		
希望	希望	⊐	一ス名	10:00 ~ 11:45	13:00 ~ 14:45	15:00	) ~ 16:30	
		BJ	歩 きA	第一部: 町歩き	  (自由行動) 	ı ı第二部: ı	落語口演·対診	
		町	歩 き <b>B</b>		   第一部 : 町歩き 	ı '第二部: '	落語口演·対診	
		=	部のみ		 	'  第二部:	落語口演・対診	

- ※ A または B のどちらかが定員に達した場合は、定員の空きのあるコースへ割り振らせていただきます。 で一緒にお申込の方がいらっしゃる場合は、備考欄にお名前をご記入ください。同じコースに割り振ります。 (お一人様につき一件のお申込が必要です。お申込はお一人様ずつお願いいたします。)
- ※E-mail アドレスの欄に携帯電話のアドレスをご記載の場合は、**koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp** からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。
- ※今回ご記載いただいた個人情報はこの催しに関する事務処理のみに使用いたします。
- ※町歩きは、安全な道・場所を引率者が配慮の上、ご案内いたしますが、参加は自己の責任でお願いいたします。 (仮に自己の責任に基づく事故・怪我があった場合、主催者側は責任を負いかねます。)



山形大学農学部・東北森林管理局 平成29年度連携シンポジウム

# 人が動く、 森が動く。

~市民参加による森づくり~ 2

山形大学農学部と東北森林管理局とは、平成23年度に相互の扶助を目標として連携協定を締結しました。我が国の森林・林業の現状について広く多くの方に知ってもらうことを目的に、連携シンポジウムを開催します。参加費無料・申込不要ですのでお気軽にご参加ください。

1B 2018年 **2月 2日 | 金 |** 午後2時~午後4時

参加無料申込不要

場所

山形大学農学部3号館3階301講義室 (鶴岡市若葉町1-23)

#### 【第1部】

#### ●講演

東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センター 所長 相澤 義継 氏 「森林ボランティア活動について(仮)」

#### ●話題提供

山形大学農学部食料生命環境学科 准教授 菊池俊一 「森作り・森の保全における市民参加の意義(仮)」

#### 【第2部】

#### ●パネルディスカッション

パネリスト 山形県内の森づくり・森林保全活動団体 コーディネーター 菊池俊一 准教授

[お問い合わせ] 山形大学農学部企画広報室

TEL: 0235-28-2803

E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

CONFÉRENCES DE M. JULIEN SCHUH JULIEN SCHUH



世紀末のメディア的想像力ュリアン・シュー氏連続講演会 2018

XIXe

STECTE

ジュリアン・シュー Julien Schuh

パリ西ナンテール大学文学部准教授 Maître de Conférences à l'Université Paris Nanterre

1980年生。高等師範学校(ウルム校)卒。パリ・ソルボンヌ大学PhD。アルフレッド・ジャリをはじめとする象徴派や世紀末 芸術に関する論考多数。近年は小雑誌」と呼ばれる出版メディアの研究に従事し、文学とグラフィック・アートの関係に無 点を当てながら、19世紀後半の西洋社会における表象の構築の問題に取り組んでいる。今回が初来日。著書にL'Illustration en débat : techniques et valeurs (1861-1931) (Epure), Alfred Jarry, le Colin-maillard cérébral (Honoré Champion) など。







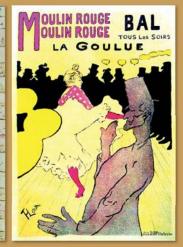
amore of the second













東北大学大学院文学研究科3階中会議室

子人子阮又子研允付3階中云議至 7777年

BIBLIOPHILIE ET PETITES REVUES

「愛書趣味と小雑誌」



1/19 [Fri] 16:20~17:50 山形大学人又社会科学部1号館301教室

英語使用、通訳あり

THE INTERNATIONAL CULTURE OF THE BELLE ÉPOQUE MEDIA, AVANT-GARDE AND MASS CULTURE IN EUROPE

「ベル・エポックの国際文化

―― 西欧のマスメディア、前衛芸術、大衆文化について」

1/21 [Sun] 15:00~17:00 京都産業大学Lib.コモンズ(図書館ホール)

フランス語使用、通訳あり

ENTRE LE QUARTIER LATIN ET MONTMARTRE, REVUES LITTÉRAIRES ET SATIRIQUES 「カフェから文芸キャバレーまで

--- カルチエ・ラタンとモンマルトルのあいだ、

文芸誌と風刺雑誌について」

いずれも一般公開・入場無料

## 第20回理科読シンポジウム

子供たちが自然科学を学ぶ方法のひとつに理科の本の読み聞かせがあり、『理科読(りかどく)』として 新たな教育方法として注目されています。

山形大学SCITA(サイタ)センターでは平成30年1月28日(日曜日)に日本出版会館で開催されます第20回 理科読シンポジウム「子どもの科学の図鑑を語る」の模様を下記のとおりネット中継することとなりました。

配信時間:平成30年1月28日(日曜日) 10時~16時30分

場 所:山形大学SCITAセンター

【スケジュール】

●第一部:10時~11時45分 理科読クラブ 実演 対 象:子ども 大人の見学可

●第二部:13時00分~16時00分 講演(途中、休憩あり)

【テーマ】: 「子どもの科学の図鑑の魅力し

\* 登壇(予定者)学習研究社、講談社、小学館、フレーベル館、ポプラ社

対 象:一般(子どもの本、教育に興味関心のある方全て)

●第三部:16時15分~16時45分:サイエンス・ビブリオ

【主催】: NPO 法人ガリレオ工房

【協力/協賛(予定)】: (公社)全国学校図書館協議会・日本児童図書出版協会・JBBY・読書 推進協議会・日本書籍出版協会 科学読物研究会 ファラデーの本棚 科学の本の読み聞かせの会「ほんと」塩尻市市民交流センター「えんぱーく」山形大学 SCITA センター

問い合わせ先: 山形大学 SCITA(サイタセンター): 023-628-4506

## モンテディオ山形杯

## 雪中棚田サッカー大会in大蕨2018



# 2018 2/17(土)

## 山辺町大蕨の棚田

8:30~13:30

- ■スケジュール
  - 8:30 受付
  - 8:45 開会式
  - 9:00 ウォーミングアップ
  - 9:30 予選リーグ(8試合)
  - 11:45 決勝・3位決定戦
  - 12:10 閉会式
  - 12:30 昼食会
  - 13:30 解散

- ■参加費:1チーム3,000円
- ■対 象:中学生以上
- ■募集チーム数: 先着10チーム
- ■参加賞:各チームに舞米豚

申込み締切 2月6日(火) 16:00まで

- 主 催:大学コンソーシアムやまがた、中地区有志の会、グループ農夫の会
- 後 援:山辺町
- 協力:公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会、㈱モンテディオ山形、 山形県 詳細は裏面へ→

#### モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会 in 大蕨2018 参加者募集

#### 1. 目的

「モンテ棚田米発祥の地」である山辺町大蕨の棚田の中でサッカーを行うことを通して、モンテディオ山形のチームとサポーター、サッカーファンそしてモンテディオ山形のホームタウン住民が交流を深める場を創出するとともに、「棚田での雪中サッカー」という新たなサッカーの楽しみ方を体験してもらうことで、モンテディオ山形を起点とした元気な地域づくりに貢献します。

#### 2. 日時

平成30年2月17日(土)8:30-13:30

#### 3. 会場

山辺町大蕨の棚田

【駐車場等については、当日、中支所・中公民館付近(山辺町大字大蕨1164-1)からスタッフが案内いたしますが、場所に限りがありますことから相乗りでお越しいただくなど、ご協力願います。】

#### 4、主催・共催・協力

主 催:大学コンソーシアムやまがた、中地区有志の会、グループ農夫の会

後 援:山辺町

協 力:公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会、㈱モンテディオ山形、山形県

#### 5. 参加費 (昼食時に提供する「わらび汁」代等含む。)

1チーム 3,000円

#### 6.参加対象

中学生以上

#### 7. 募集チーム数

先着 10 チーム (6人でエントリーし、試合は5人が出場する。5人のうち1人はゴールキーパー。)

#### 8. 内容

競技方式:予選/3チームずつ4コートに分かれてリーグ戦を行う。(内2チームはモンテディオ山形の ジュニアユースチームが参加)

決勝/各コートの上位1チームでトーナメント戦を実施し、優勝を決める。負けたチーム同士で、 3位決定戦を行う。

試合形式:フットサルに準じた特別ルールを採用、6分ハーフ制

景 品:優勝チームへ棚田米 1俵( 60kg )

参加賞:各チームに地元山辺産のお米を食べて育った「舞米豚」

服 装:原則、長靴を使用する。雪上での大会ですので、温かい格好でご参加ください。 持ち物:おにぎり、飲み物等ご持参ください。(昼食に「わらび汁」を提供します。)

※その他、当日の日程については表面をご覧ください。

#### 9. 参加申し込み (必ずチームでお申し込みください。)

**参加者全員**の ①お名前、②年齢、③性別、④代表者の電話番号、⑤チーム名、⑥チームのプロフィールを書いて(記載形式自由)、FAXまたはメールで下記の「お申込先」までお送りください。 **申込締切は 2月6日(火) 16:00 まで**。参加費は当日受付でお支払いください。

#### 【お申込先】大学コンソーシアムやまがた (FAX:023-628-4820/E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

~モンテディオ山形杯~ 雪中棚田サッカー大会 in 大蕨【参加申込書】

	氏	名 <フリガナ>	年齢	性別	代表者の連絡先(メルアド及び携帯)
[代表者名] 1.					E-mai: Tel:
				ļ	チーム名/チームのプロフィール(当日のパンフレットに掲載)
2.					[チーム名]
3.					[לםלא–ル]
4.					
5.					
6					

平成30年2月

## 東北古典彫刻修復研究所企画 第2弾 「文化財のゲンバ」

「 現 場百遍」という表現があります。警察の事件捜査の際、解決の糸口や真実への 諸端はその現場にこそあり、百回通ってでも調査すべしという姿勢を表したものです。 そこで今回は、よく耳にはしても、どこかつかみどころのない「文化財」について、各 分野の現場で働く方々から臨場感あふれるお話を伺い、その実態に迫ります。 それぞれのおはなしが皆さんにとって、実りある一遍目の「ゲンバ」となりますよう。

「中はどうなってるのだろう X線CTで隠された仏像の姿・形を見る」 講師:加藤 和歳 氏(九州歴史資料館 学芸調査室 保存管理班長) X線CTという科学の眼で、仏像の中に隠されている本来の姿や形をみなさ んと観察してみます。(背景写直は仏像頭部をX線CT撮影したものです)

「クラウドファンディングから始まる仏像の修復と継承」

講師: 宮本 晶朗 氏(株式会社文化財マネージメント 代表取締役) 経済基盤の小さい過疎地域の小規模寺院やお堂の仏像に修復が必要と なった場合、その解決策として注目されている手法についてお話します。

「巧みな構造体からなる日本寺院建築の優美な姿」

講師:高橋 洋二 氏(株式会社加藤工匠 現場棟梁) 精巧で美しい図面と構造体からなる優美な建造物…。立派な建物ではなく、 自然と手を合わせたくなるような穏やかな建物を私は造り続けたい。

「仏像の帰るところはどこ?流転の仏の過去・現在・未来」 講師:渡邉 真吾 氏(有限会社東北古典彫刻修復研究所 副所長) 様々なお寺に安置される仏像ですが、なかにはその居場所を転々とする ものも少なくありません。そんな仏の昔と今、そしてこれからを探ります。

※ 夜話の時間はいずれも18:30~19:30 です。

ゆうキャンパス・ステーション 会 (山形むらきさわビル1階)

アクセス

山形駅東口より徒歩1分

対

高校生•学生•一般市民 定員:50名

お申し込み

電話又はチラシ裏面の参加申込 書に必要事項を記入の上Fax, 郵 送、メール等でお申し込みください。

大学コンソーシアムやまがた 主催

お申込み お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階 TEL: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820 E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

READYFOR? 江戸時代から山形に伝わる。







## FAX:023-628-4820 大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

## やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

なお、定員を超えた場合は、参加できない場合がございます。

	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。						
	□ 平成30年 2月 1日(木) 講師:加藤 和歳 氏						
参加日	□ 平成30年 2月 8日(木) 講師:宮本 晶朗 氏						
	□ 平成30年 2月15日(木) 講師:高橋 洋二 氏						
	□ 平成30年 2月22日(木) 講師:渡邉 真吾 氏						
住 所	〒						
氏 名							
連絡先	TEL						
	E-mail						
所属							

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。 この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、 参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

#### 【お申込み・お問合せ先】

#### 大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp